

組織マネジメントの重要性

—従業員エンゲージメントとパフォーマンスに与える影響—

氏名 岡田 郁磨

指導教員 鳥取部 真己

要旨

労働者の仕事に対する捉え方の変化や日本の生産年齢人口の減少等によって、人材の流動性はますます高まっている。人材の確保と争奪戦が激化するこの時代において、競争優位の源泉である従業員との関係をいかに維持すればよいのだろうか。私は従業員エンゲージメントこそがこの問題の鍵であると考え、X社A部門営業組織においても同様の課題を抱えている状態であり、本論では、当該組織の組織マネジメントの何が、従業員エンゲージメントとパフォーマンスに影響を与えるかを明らかにし、組織マネジメントの重要性を提言する。

調査は、X社A部門営業組織の従業員へのインタビュー調査と先行研究に基づき作成したアンケート調査を、当該組織の従業員を対象に実施した。計63名から回答が得られ、因子分析により従属変数と独立変数を構成し、従業員エンゲージメントを向上させる要因について、重回帰分析により仮説の検証を実施した。

分析の結果、X社A部門営業組織については、昇進やポスト、活躍の場の提供等の「評価」が従業員エンゲージメントに有意に影響する結果を得た。また、20～30歳代においては、評価に加えて、「将来性」がマイナスに有意に影響する結果を得た。さらに、「評価」は、従業員エンゲージメントを介して間接的にパフォーマンスに影響することがわかった。

X社A部門営業組織において、人材を維持し、さらには1人ひとりのパフォーマンスを向上するには、この結果をもとに組織マネジメントを改善することが求められている。